The sun will shine again. ～太陽はまた輝く～

校長　桑野 啓子

学園だより３月号をお届けする時期を迎えました。２０２０年度は、大きな変化のある年でした。保護者、地域のみなさんが、学園に寄せてくださるあたたかいお気持ちがより一層身に染みる日々でございました。ご家庭での検温や体調管理へのご協力も大変ありがたく心強かったです。多くの方々のおかげさまで、１３８０名の子どもたちと教職員がこの３月も元気に学園に集うことができていますことに胸がいっぱいになります。我々教職員も、様々な新しいことにトライしました。授業動画、オンライン授業、オンライン懇談等々。何事においても、まずはやってみる。その中で課題を見つける。そして課題克服のために知恵をしぼり、またやってみる…の繰り返しだと考えます。このピンチの状況もトライするチャンスととらえて、「子どもたちの学びのために」を合言葉に、教職員と保護者のみなさんで、より一層気持ちをひとつにさせていただく必要のあった今年度でした。この多くの学びを次年度に生かしていかねばならないと考えています。

さて、英国各地の医療従事者への支援のための寄付金をよびかけて、歩行補助器につかまって、自宅の庭を１００往復すると宣言し、実行されたトム・ムーアさんが亡くなったというニュースにであいました。このチャレンジが英国のみならず、多くの方々を元気づけたということを知ったとき、できないことを嘆くばかりではなく、自分ができることにトライすることの大切さを痛感しました。

Moore's message to the world was that the sun would shine again and that the clouds would clear.

（ムーアさんの世界に向けたメッセージは、「太陽はまた輝く、雲はいずれ晴れる」というものでした。）と新聞で紹介されています。

学園は創立１０周年を迎えました。３月１２日には１０期生の卒業式を挙行いたします。１～８年生の子どもたちと一緒に、心をこめて６５名を送り出したいと思っています。今年度も多くのご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝し、来る２０２１年度も、「太陽はまた輝く」を胸に刻み、進んで参りたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いします。